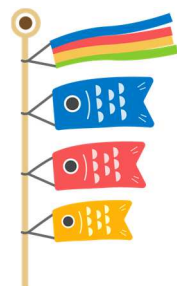


ほけんだより

子ども健康部 幼児課
令和7年5月発行



✿正しい手洗いを身につけよう



手洗いは衛生の基本です。

手はいろいろなものに触れるため、手を介して細菌やウイルスに感染する場合があります。外遊びの後、トイレの後、食事の前にはきちんと手を洗いましょう。



手洗いの方法による効果の違い

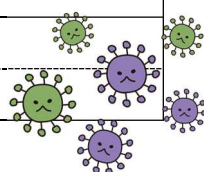


手の洗い方によって、ウイルスの残る数が違うという研究結果があります。

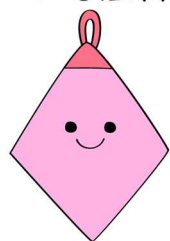
手洗いは、感染症を予防するうえでとても大切で、誰でも簡単にできます。石けんを使ってしっかりと手を洗い、感染症の原因となるウイルスや細菌を落としましょう！

手洗いの方法による残存ウイルスの違い

手洗いの方法	残存ウイルス
手洗いなし	約100万個
流水ですすぐのみ	約1% (約1万個)
石けんで10秒または30秒もみ洗い	約0.01% (数百個)
15秒流水ですすぐ	約0.0001% (数個)



ハンカチ・タオルにも注目!! 清潔なものを使っていますか

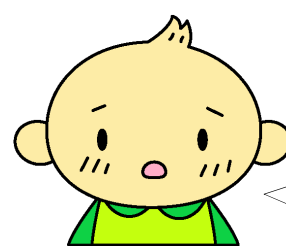


登園するときに持たせているハンカチやタオルは清潔なものですか？

きれいに手を洗うことを身につけても、洗った手をふくためのハンカチやタオルが汚れていては、役に立ちません。きちんと洗濯をしたハンカチ、タオルを用意しましょう😊

5月31日は世界禁煙デー たばこの害から子どもたちを守ろう

5月31日は世界禁煙デーです。この5月31日から6月6日までの1週間が禁煙週間となります。子どもがいない場所でたばこを吸った場合でも、髪の毛や洋服、呼気などにタバコの残留成分が残っていて、受動喫煙してしまいます。この機会に子どもたちがたばこの害にさらされていないかを見直してみませんか。



■たばこの煙による子どもの健康への影響

- ・乳幼児突然死症候群・低出生体重児・むし歯・歯肉への色素沈着
- ・肺炎、気管支炎・ぜんそく・慢性副鼻腔炎・中耳炎
- ・アトピー性皮膚炎・せき、たん、喘鳴・扁桃肥大

注意!! 乳幼児による加熱式たばこの誤飲

乳幼児による加熱式たばこの誤飲がなくなりません。6歳未満の乳幼児が加熱式たばこのたばこ葉が入ったスティックやカプセルを誤飲する事故は2017年以降2022年10月末日までの約6年間に、112件の情報が医療機関ネットワークに寄せられています。また、最近では加熱式たばこのスティック内に金属片が内蔵されたものを販売されており、こうした金属片を誤飲した事故も起きています。

【おもな事例】

- ・本体に挿したまま置かれていた吸殻を誤飲した。
- ・加熱式たばこのスティックを口にして、たばこの葉の部分がなくなっていた。
- ・保護者のかばんの中の吸殻を誤飲して、腹部レントゲンで金属片を認めた。

➡112件のうち68件(60.7%)は、受診した医療機関で何らかの治療や処置を受けており、即日治療完了31件、要通院29件、要入院は8件でした。

【誤飲してしまったときは・・・】

- ・たばこの葉が口の中に見えるようであれば、できる限り取り除く。
- ・水や牛乳を飲ませず、直ちに医療機関を受診する。
- ・受診の際は、可能な限り製品のパッケージを持参する。



参考：消費者庁ホームページ